



POSC (Pachinko-Pachislot Organization of Social Contribution)

一般社団法人
パチンコ・パチスロ社会貢献機構

〒162-0844
東京都新宿区市谷八幡町16市ヶ谷見附ハイム103
TEL 03-5227-1047 FAX 03-5227-1049
<http://www.posc.or.jp>



AJOSC

パチンコ・パチスロ依存問題への
支援活動報告

全日本社会貢献団体機構(AJOSC)は2019年11月1日より、
一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構(POSC)に
変わりました。

全日本社会貢献団体機構は、全国のパチンコ・パチスロホール組合の連合会組織である全日本遊技事業協同組合連合会（全日遊連）を母体とし、2005年12月発足しました。遊技業界や民間、公的機関などと連携・協力しながら、以下の事業を中心に活動しています。

A group of people are seated at tables in a restaurant or dining hall. In the foreground, a woman wearing a green long-sleeved shirt and a red Santa hat is smiling and holding two plates of food. She is surrounded by other people, some of whom have their faces blurred for privacy. The tables are set with various dishes, including bowls of food, cups, and plates. The atmosphere appears to be festive and social.

[illegible]

The image is a composite of four parts. On the left is a photograph of a lecture hall with an audience seated in rows of wooden chairs, facing a stage. On the stage, two people are standing at podiums in front of a large screen displaying a presentation. To the right of the photograph are three vertical posters. The top poster is for a disaster preparedness lecture titled '大規模震災に備えて' (Preparing for Large-scale Earthquake). The middle poster is for a career guidance event titled '社会を動かす力になる' (Becoming the force that moves society). The bottom poster is for a social entrepreneurship event titled '社会を動かす力になる' (Becoming the force that moves society).

社会を動かす力になる
社会起業家入門講座

大規模震災に備えて
震災に備えるための準備

社会を動かす力になる
社会起業家入門講座

[illegible]

パチンコ・パチスロ依存問題の 予防や解決に取り組む団体に助成

業界14団体で構成するパチンコ・パチスロ産業21世紀会と全日本社会貢献団体機構が2019年5月14日、都内で「パチンコ・パチスロ依存問題フォーラム」を開催し、依存問題に関する業界の対応や今後の課題をテーマにした基調講演、業界関係者によるパネルディスカッションを行いました。

会場では、パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む団体に全日本社会貢献団体機構から特別助成を行い、下記4団体に助成金内定証交付式を実施しました。

認定特定非営利活動法人 ワンダーポート

「パチンコ・パチスロに問題がある人への支援の個別性を 伝えるための啓発」事業

助成金額190万円



日本初のギャンブル依存症回復(入所)施設として2000年に設立。パチンコ・パチスロ依存問題を持つ人や家族への支援(面談、入所支援、余暇支援、生活支援など)を行い、これまで1,000人を超える人々に寄り添い、社会参加の手助けを行った。また、全国各地でセミナーや勉強会を開催し情報を発信している。

一般社団法人 神戸ダルクヴィレッジ

「関西圏域でのパチンコ・パチスロ依存問題の 相談支援」事業

助成金額180万円



兵庫県で唯一の依存症リハビリ施設で、各種依存症者(薬物、アルコール、ギャンブルなど)、その家族、及び薬物依存の問題を抱える関係者に対して、包括的に回復及び社会復帰を支援している。また、啓発活動、地域の刑務所・保護観察所への教育活動、中学校・高校への予防講演活動などを行なっている。

特定非営利活動法人 ちゅーりっぷ会 長崎ダルク

「回復支援と相談支援の事業拡張」事業

助成金額200万円



長崎市内を中心に活動するギャンブル依存症回復施設で、回復支援と相談支援の活動を行っている。ギャンブル依存症についてのイベントやフォーラムの開催、広報誌、チラシ、ポスターなどを作成して問題の啓発・予防活動に取り組んでいる。今後は長崎県全体への展開を視野に入れて活動中。

一般社団法人 むら ワークスホーム

「コーヒー豆の栽培・販売を通して依存者の社会復帰を 支援するプロジェクト」事業

助成金額180万円



2013年4月に沖縄県より就労継続支援B型事業所の指定を受けて「ワークスホーム」を宜野湾市で運営している。パチンコなどギャンブルの依存問題を抱える方をはじめ、アルコール、薬物などの依存問題をもつ方がコーヒー、紅茶の加工、販売を行いながら社会復帰を目指している。



その他の助成実績

助成団体：認定特定非営利活動法人 リカバリーサポート・ネットワーク
http://rsn-sakura.jp

「ばちんこ依存問題に関する相談および回復支援」事業

助成金額累計1億5,000万円

娯楽・遊技への過度ののめり込みに関する相談・啓発・予防事業を実施

認定NPO法人「リカバリーサポート・ネットワーク（以下RSN）」は、2006年に全日遊連の支援によって発足した団体である。RSNでは遊技業界ならびに民間や公的機関、医療機関などと連携・協力しながら、パチンコやパチスロなどの遊技利用者とそれに関係する人々に対し、過度ののめり込みに関する相談、啓発、予防などの事業を行っている。

RSNでは、全日本社会貢献団体機構からの助成を受け、年間を通して電話相談事業、広報・啓発事業（ニューズレター発行、啓発ポスター、自己診断アプリなど）、支援・連携活動事業（公的研究への協力、回復施設などとの連携・協力）、セミナー、講演会などの企画開催、研修活動事業（相談技能などの研修）などの活動に従事している。

電話相談事業では、遊技産業からの出向者や遊技産業での勤務経験を持つスタッフがトレーニングを受けて、相談対応を担うまでになってきた。それにより、電話相談の対応件数の増加だけでなく、幅広い相談内容に対応できるようになっている。また、遊技業界と協働して様々な依存問題対策を立案し、「安心パチンコ・パチスロアドバイザー制度」の創設とアドバイザーの養成を進めた。



定期的にセミナーを開催

ばちんこ依存問題相談機関 リカバリーサポート・ネットワーク
050-3541-6420
月～金（土日祝除く）10:00～22:00 相談無料
※受付は21:30まで

助成団体：日本のお母さんに花束をプロジェクト

「依存症者の家庭で育つ子ども向けプログラム」事業

助成金額180万円

ギャンブル依存症者のいる家庭の子どもや母親を支援

2014年に設立した「日本のお母さんに花束をプロジェクト」。現在は回復しているが、団体代表者の夫は一時、ギャンブル依存症を抱えていた。そのために一時期、別居もしたが、家族の絆を取り戻し、その経験をベースに支援活動をしている。

依存症は社会的な偏見が強く、本人や家族も問題を明るみに出すことを拒むケースが多い。また子どもがいると、子どもへの影響を気にして相談を躊躇する傾向も強い。依存症者を家族に持つ家庭では、精神的にも、経済的にも負担の多い生活とならざるを得ないが、家族や子どもへの支援網は少ない。そこで同団体では全日本社会貢献団体機構の助成を受け、2つの事業に取り組んだ。

1. 依存症問題を抱える親子を対象としたキャンプの開催。全国から計30名（大人13名、子ども17名）が参加し、親子に依存症問題から一時離れ、リラックスしてもらうことを目的に実施した。
2. 沖縄大学で開催した講演会「治る?!ギャンブル依存症～家族と子どもに伝えたいメッセージ～」。これは依存症の本人、家族、医療関係者、回復支援者、子どもの支援に関わる人々を対象にし、会場には50名以上が参加した。

治る?!ギャンブル依存症
～家族と子どもに伝えたいメッセージ～

【対象】 ご本人・ご家族（お子様連れ可）
医療関係者・回復支援者・子どもの支援に関わる方

【講師】 伊波 真理雄 氏
（専門クリニック院長 精神科医 沖縄県出身）

町田 政明 氏
（NPO法人ギャンブル依存ファミリーセンターホープビル（福岡）代表）

日本大学で心理学を学び、精神障害・アルコール依存症の回復に15年経験。アルコールに引き込まれ、借金や家族との関係、健康、仕事などに悩み、退学後、東京で就職。2005年にギャンブル依存症を発症。その後、NPO法人に就職し、アメリカと日本で、アドリブの経験を学ぶ。昨年（2021）NPO法人に就任。2022年よりNPO法人「ギャンブル依存ファミリーセンター」を設立。公益財団法人「日本ギャンブル依存症協会」の理事。現在、NPO法人「ギャンブル依存症回復センター」を運営。NPO法人「ギャンブル依存症回復センター」の代表。NPO法人「ギャンブル依存症回復センター」の代表。NPO法人「ギャンブル依存症回復センター」の代表。

【会場】 沖縄大学
3号館101教室
広瀬市字広瀬 656

～お車でお越しの際は～
広田第1駐車場
広田第2駐車場
をお使いください

◆主催 日本のお母さんに花束をプロジェクト Tel:090-7424-7528 / E:naahahananatanabun@gmail.com◆
後援 沖縄県 / 琉球新報 / 沖縄タイムズ / H29年度 全日本社会貢献団体機構助成事業

開催した講演会のチラシ